

令和5年度

肥料価格が高騰を続けています…

施肥の見直しに 取り組みませんか？

土壌分析により成分の不足が確認されれば収量向上への対策が、
過剰な成分が確認されれば、肥料の削減が検討できるかもしれません。



JA会津よつばでは、土壌分析費用の一部助成※を通じて、高騰する生産資材の影響を受けている生産者の皆様をご支援いたします。

詳しくは裏面のご案内、お近くの営農経済センターにお問い合わせください。

※土壌分析機関・検査内容についてはJAが指定いたします。

※当JAが定める受付点数に達し次第、終了となります。

※分析結果はJAグループ福島および福島県と共有し、本県における化学肥料使用低減に向けた取組検討等に広く活用させていただきます。

＼このほかにも…／

JA会津よつばでは、現在管内の複数水田をモデル圃場として、土壌分析により地域の土壌特性を把握する取り組みをすすめています。

今後これらの結果を踏まえ、皆様に施肥の見直しのご提案をしていく予定です。

JAグループ福島



JA会津よつば

JA共済の地域貢献活動

©2017 JA-KYOSAI

本チラシの配付には、農業者の経営安定化支援のため、JA共済の助成金が活用されています。

PKパック土壌分析ご利用のご案内

肥料価格高騰対策としてのPK分析について

リン酸(P)、カリ(K)ともに世界的に原料が高騰しており、肥料価格を大きく押し上げている成分です。

PK減肥が効果的と考えられる理由

過去に行われた土壌分析結果では多くの圃場で過剰傾向にあり、一時的なら施肥量を減らしても収量・品質に影響が少ないと判断できます。

※窒素(N)は収穫量に大きな影響を与える成分であり容易に減肥判断することは難しい。

高騰している成分(P・K)が過剰となっている圃場で、施肥量を調節することがコスト低減につながります。

PKパック土壌分析の申込について

(1)申込受付期間 令和5年4月～11月(各営農経済センター)

(2)申込み

- ・施肥前又は収穫後の土壌で分析します。
- ・各生産者で土壌採取し、十分乾かしてからビニール袋に入れて各営農経済センターへ持ち込みして下さい。
- ※PKパック分析申込書をご提出願います。
- ※フルイ掛け等はJAで行います。

①水稲
穀類

・稲作部会、特裁米等の部会がある場合は、部会で取りまとめてご利用お願い致します。
その他は各自申込となります。

②園芸

・各部会で取りまとめてご利用お願い致します。

③直売所

・各自申込となります。

(3)分析機関 JA全農福島 農業技術センター

(4)利用料金 1点 1,100円(税込み) ※後からJAが50%助成します。

(5)分析結果 依頼から約3か月程度で送付予定